
ジップシールドジャパン
＜ポリシールドシリーズ＞



Zip Shield Japan

ジップシールドジャパン

2019年5月

Ziebart

＜まず初めに＞

シップシールドジャパンの特殊塗料 ポリシールドシリーズの素材、ポリウレア・熱混合ポリウレタンは世界各国様々の場面で使用されております。



「通常の塗料とどこが異なるか？ポリウレア
熱混合ポリウレタンは何が良いのか？」

ご質問等は上記以外にも多々あると思います。

ポリウレア塗料は様々な使用用途に適合できる様、種類も様々ございますが、



通常の塗料と異なるのが、「施工する事により、施工部位に対し、①強度が飛躍的に上がる②完全防水③耐摩耗性向上」とさまざまな工業用および商業材料の寿命を延ばすことが可能です。

ポリウレア樹脂は1980年初期に誕生し注目を浴びました。

「なぜ40年以上も経つのに多く使用されていったのか？」

当然、そんな疑問が生じると思います。

ポリウレア樹脂はその施工方法が特殊であり、扱いが難しい為、一般的な場所に使われていませんでした。

その後、強度向上・耐摩耗性等にUSA陸軍が注目し軍事ヘリの燃料タンクへのコーティング戦車への装甲強化への使用等がなされ、ポリウレア素材の魅力が理解されてきました。



<施工方法・特徴>

- ① 施工場所でE-シールドシリーズの材料の施工準備から始まります。(素材の温度管理、機材の施工準備)
適温は60~70°Cの為



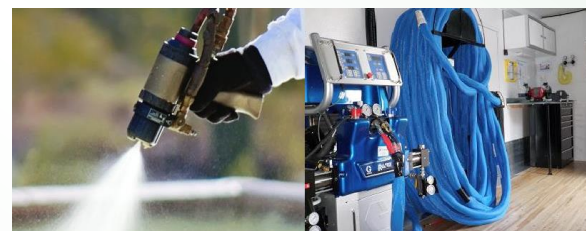
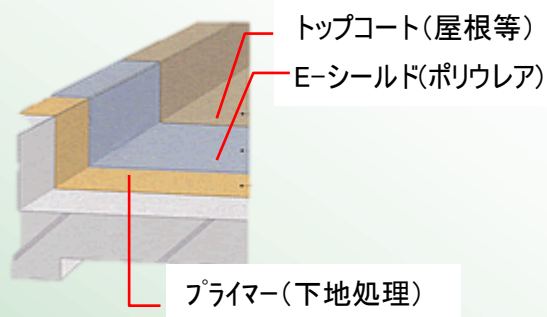
機種：E-XP2

- ② 事前調査に基づき塗布面の下地処理を開始



機種：E-10hp

- ③ 下地処理後乾燥しているかを十分チェックしE-シールド施工開始



通常のスプレーガンと違い、イソシアネート(A液)とアミン基(B液)スプレーガンの先で衝突混合させポリウレアを生成させ塗布(化学反応が早い為)

E-シールドの最大の特徴は、超速硬化、強靱な引裂強度・引張強度・伸び性・薬品対抗性・摩耗性に優れ、さらに、無溶剤、無触媒なので環境にもやさしい高分子結合物

- ④ 依頼があればトップコート処理(デザイン性の融通はあまりよくない為)

3~20秒にて表面硬化。24時間程度で完全効果

*気温・天候・ポリシールドシリーズの種類によって硬化時間が異なります。